

# びいぶる

- P. 2～4 …………… 議案審議、陳情・意見書、決算審査
- P. 5 …………… 議案等に対する議員の態度
- P. 6～10…………… 本会議の視聴、一般質問
- P.11 …………… 行政視察レポート
- P.12 …………… 議会報告会、定例会の傍聴



表紙の説明

### 鬼みちまつりの"鬼あかり"作製の1コマ

10月15日(土)に開催された鬼みちまつりの、鬼あかり(ランプシェード)づくり風景です。高浜小学校の児童が、熱心に鬼師さんの指導で作りあげていました。



## 9月定例会

# 議 案 審 議

平成28年9月高浜市議会定例会が、9月2日から9月30日までの29日間の会期で開かれました。主な議案等は次のとおりです。

議案等の件名は5ページの「議案等に対する各議員の態度」の件名欄をご参照ください。

## 諮 問 ・ 同 意

### 【諮問第2号】

加藤美恵子氏の再任を推薦するもの。

### 【同意第5号】

磯貝政博氏の再任を同意するもの。

## 議 案

### 【議案第51号】

特定医薬品購入の医療費控除の特例及び再生可能エネルギー発電施設等の固定資産税の課税標準の特例を定めるもの。

### 【議案第52号】

都市計画税の特例措置をするもの。

### 【議案第53号】

国民健康保険税の課税特例を改正するもの。

### 【議案第54号】

条例の見直しにより撤回。

### 【議案第55号】

新たに市道10路線を市道認定するもの。

### 【議案第56号】

水道事業会計の利益剰余金を処分するもの。

### 【議案第57号】

いきいき広場の会議室料の改正をするもの。

### 【議案第66号】

住民投票条例の開票作業について、投票率50%未満の場合でも参考までに開票し、結果を公表するよう改正するもの。

## 補正予算

### 【議案第58号】

歳入歳出それぞれ1,298万7千円を追加し、総額を145億283万6千円とするもの。

### 【議案第59号】

歳入歳出それぞれ2億4,931万8千円を追加し、総額を41億6,653万7千円とするもの。

### 【議案第60号】

歳入歳出それぞれ1,372万円を追加し、総額を7,289万3千円とするもの。

### 【議案第61号】

歳入歳出それぞれ365万7千円を減額し、総額を14億6,227万2千円とするもの。

### 【議案第62号】

歳入歳出それぞれ2,839万円を追加し、総額を5,851万3千円とするもの。

### 【議案第63号】

歳入歳出それぞれ3,529万7千円を追加し、総額を26億5,071万2千円とするもの。

### 【議案第64号】

歳入歳出それぞれ108万1千円を追加し、総額を4億9,317万4千円とするもの。

### 【議案第65号】

住民投票実施のため、歳入歳出それぞれ935万円を追加し、総額を145億1,218万6千円とするもの。

## 陳 情 ・ 意 見 書

9月定例会に陳情4件が提出され、福祉・文教委員会に付託・審議され、本会議において採決されました。

陳情・意見案の結果は5ページの「議案等に対する各議員の態度」をご参照ください。

### 【陳情第9号】

#### ■賛成意見

- ・義務教育の成否は、教職員の確保や配置等の資質向上に負うところが非常に大きい。学校現場では、不登校や非行等の問題を多く抱えている。学級規模が小さい35人程度の編成が法制化されることで、学校教育の教育課題にも対応できる。
- ・行き届いた教育を行うため、少人数学級のさらなる拡充を含めた、定数改善計画の早期策

定・実施が不可欠である。機会均等に一定水準の教育が受けられるには、義務教育費国庫負担制度を堅持することが大事である。

- ・日本の教育への公的支出の少なさは世界でも上位で、高学費、劣悪な教育や研究条件の根源である。教育予算の抜本的増額は税の使い方を変え、文教予算の計画的引き上げでOECDの平均並みにすれば、教育条件を大きく改善できる。

#### 【陳情第10号】

##### ■趣旨採択意見

- ・一層の拡充や充実を図ってほしいが、国の財政も厳しく、上乘せには限界があるが、陳情の趣旨は十分理解できる。
- ・負担の公私格差を是正するため、就学支援金を一層拡充することとあるが、国は公立高校の教育費の無償化政策に伴い、私学助成にも大いに取り組んできた。独自の校風や教育理念を求め、私立高校へ通う生徒もいる。公立高校にはない充実した施設・設備が、多くの私立学校にはある。

##### ■賛成意見

- ・国の私学助成を、抜本的に変えなければいけない。安倍政権になり3年、背を向けている。

#### 【陳情第11号】

##### ■趣旨採択意見

- ・私立高校の授業料補助制度は、十分であるとはいえないが実施されている。県の財政も厳しい中で、さらなる拡充施策は難しい。しかし、私立高校の置かれている厳しい状況も十分理解できる。

##### ■賛成意見

- ・保護者負担軽減の授業料助成は、拡充されてきているが十分ではない。県は、お金の使い方を大企業に優遇しているので、改善すべき。

#### 【陳情第12号】

##### ■反対意見

- ・私立高校の授業料補助事業は、各市町村で実施されている。高浜市も、近隣市と比較しても十分助成されており、現状のままで良い。
- ・本市の私学助成は、所得制限があるものの県

下の市町村と同じようなレベルの補助を行っている。また、国や県の減免制度もある。

##### ■賛成意見

- ・昨年度68名が助成を受け、総額が104万4千円である。碧南市や知立市と比較すると、人口で碧南が約7万2千人、知立が7万1千人。内、碧南の支給人数が246名で総額が292万3,200円、知立は432件で総額が511万2千円になる。高浜は人口比で考えると、支給人数も総額も少なく、授業料助成は広げる必要がある。

## 意見書

#### 【意見案第3号】

陳情第9号が採択されたので、意見案の意見書の提出を可決し、内閣総理大臣ほか4大臣へ送付しました。

## 決算審査

9月定例会において、決算特別委員会を設置し、9月13日から14日までの2日間にわたり決算認定審査を行いました。

なお、5ページの「議案等に対する各議員の態度」に、決算認定内容を掲載していますのでご参照ください。

#### ◇総括

平成27年度の一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入が235億5,307万4,930円で前年度比3.7%の増、歳出は、226億1,137万3,600円で前年度比5.5%の増となり、前年度より歳入・歳出ともに増加しております。

#### ◇一般会計

一般会計の歳入は、148億4,018万3,491円で前年度比1.4%の増、歳出は、142億4,877万3,604円で前年度比4.2%の増となっています。

歳入の財源別内訳では、自主財源が104億6,844万7,633円で、自主財源比率は、前年度比1.2%減の70.5%、依存財源は、43億7,173万5,858円で、依存財源比率は、前年度比8.0%増の

29.5%となっています。

一方、歳出の性質別内訳では、義務的経費（※1）は、63億4,473万9,185円で前年度比1.3%の増、投資的経費（※2）は、6億3,882万1,510円で前年度比37.2%の増となっています。その他の経費（※3）は、72億6,521万2,909円で前年度比4.6%の増となっています。

なお、財政力指数（単年度）については、0.99で、前年度比で0.01ポイント上昇しております。

#### ◇特別会計

特別会計の歳入は、87億1,289万1,439円で前年度比8.1%の増、歳出は、83億6,259万9,996円で前年度比7.7%の増となっています。

一般会計からの繰入金の総額は、14億437万6,387円で前年度比7.1%の増となっています。

#### ◇公営企業会計（水道事業）

経営状況では、水道事業収益は、8億618万

2,160円で前年度比0.2%の増、水道事業費用は、6億8,695万5,395円で前年度比0.3%の減となり、収支差引1億1,922万6,765円の純利益を計上しています。（決算額は、消費税を含まない金額です。）

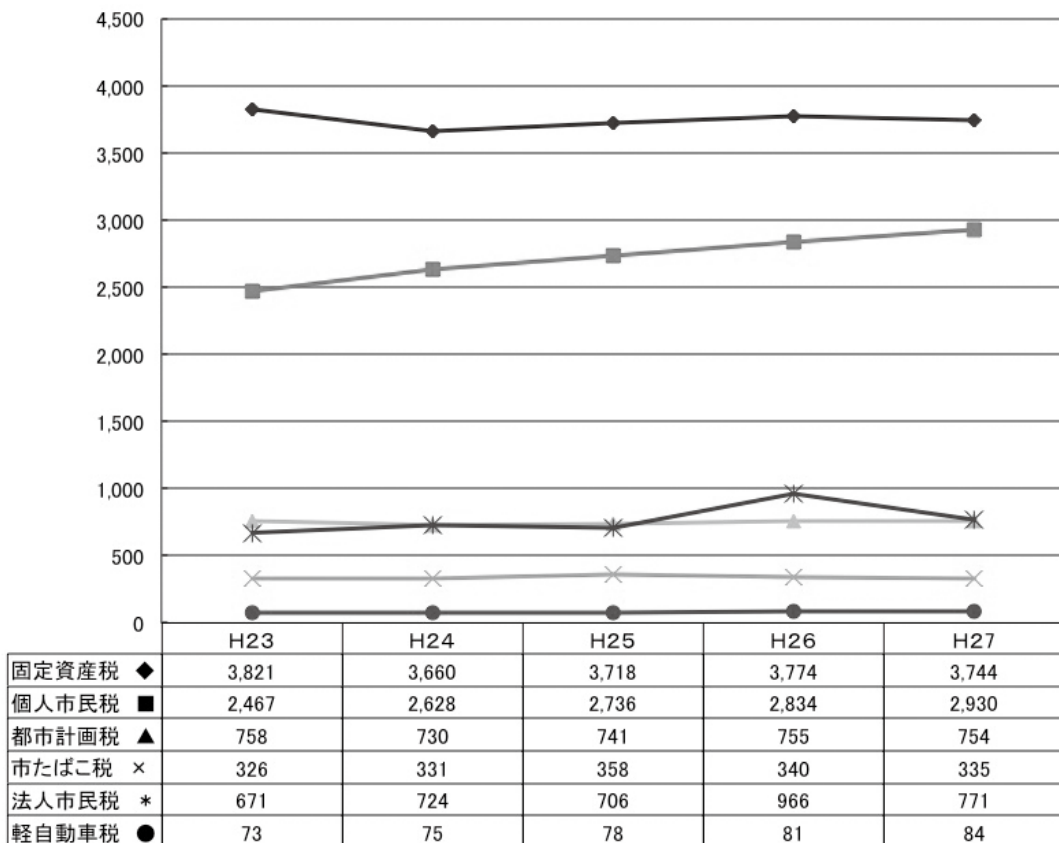
給水人口、給水証数は増加し、有収水量も前年度に比べ若干増加しましたが、給水収益は減少しました。しかし、人件費や委託料を始めとした事業費用の縮減に努めるとともに、受水費の縮減に努めた結果、前年度より約400万円多い純利益を得ることができ、決算状況は良好な状態が保たれております。

※1 人件費・扶助費・公債費

※2 普通建設事業費・災害復旧事業費

※3 物件費・維持補修費・補助費等・積立金・貸付金・繰出金

### 市税の内訳と推移



※各税の金額単位：百万円

出典：高浜市が作成した、各年度の「主要施策成果説明書」

議案等に対する各議員の態度		会派名	市政クラブ									公明党	日本共産党	市民クラブ	開拓志	大塚たけまさ
		議員氏名	鈴木勝彦	北川 人	杉浦 辰夫	幸前 信雄	柴田 耕一	浅岡 保夫	柳 沢 英希	神谷 利盛	杉浦 康憲	小野田由紀子	小嶋 克文	内藤とし子	黒川 美克	長谷川 広昌
種類/番号	件名	結果	○=賛成・同意 △=趣旨採択 ●=反対・不同意													
※ 諮=諮問 同=同意 議=議案 陳=陳情 認=認定 意=意見案																
<b>9月定例会 議案等</b>																
諮第2号	人権擁護委員の推薦について	異議なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第5号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第51号	高浜市税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	高浜市都市計画税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第53号	高浜市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第55号	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第56号	平成27年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金及び資本剰余金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第57号	高浜市いきいき広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第58号	平成28年度高浜市一般会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第59号	平成28年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第60号	平成28年度高浜市土地取得費特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第61号	平成28年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第62号	平成28年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第63号	平成28年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第64号	平成28年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第65号	平成28年度高浜市一般会計補正予算(第4回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第66号	高浜市住民投票条例の一部改正について	否決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●
陳第9号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳第10号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳第11号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳第12号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	△	●
意第3号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第1号	平成27年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	平成27年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	平成27年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	平成27年度高浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第5号	平成27年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第6号	平成27年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第7号	平成27年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第8号	平成27年度高浜市水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 杉浦敏和議員は議長職のため、表決権はありません。  
 ※ 内藤とし子議員は、5日目を病欠のため、表決しておりません。

## 本会議(定例会・臨時会)放送の視聴ができます

- インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生(ライブ)中継や録画中継をご覧になることができます。
- なお、録画中継は、生(ライブ)放送後、おおむね2週間以内の配信を予定しています。
- 議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずご覧ください。

### PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

### スマートフォン向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

スマートフォン用QRコード→

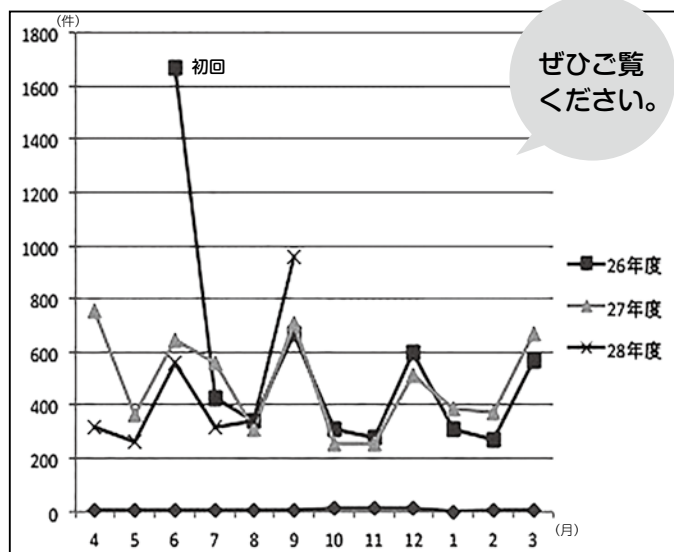


ご注意ください。.....

- 視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者のご負担となります。
- 動画配信となりますので、視聴者の通信料等の契約内容により、高額となる場合があります。
- 視聴に際し今一度、視聴環境にかかる契約内容を、よくご確認・納得のうえ、ご視聴ください。

## 議会議中継画面アクセス件数

区分	月	26年度	27年度	28年度
	4		751	319
	5		361	262
定例会	6	1,666	646	561
	7	429	559	321
	8	339	313	342
定例会	9	670	706	959
	10	306	253	
	11	276	256	
定例会	12	600	513	
	1	311	385	
	2	267	368	
定例会	3	565	666	
合計		5,429	5,777	2,764
年度平均		543	481	461



※1人の方が2回アクセスしてきた場合は、2件のカウントになります。

# 市政の ここが聞きたい!

一般質問

一般質問は定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずねるものです。  
なお、掲載文は質問議員本人作成の原稿です。



黒川美克 議員

**生涯学習の推進と  
生涯学習施設の  
今後のあり方**

**問** 生涯学習の推進について、どのように考えているか。

**答** かわら美術館や図書館等で、市民や市民団体による様々な体験機会を

数多く、幅広く企画・実施した。

まちづくり協議会では、地元住民が講師となつての体験教室や野鳥観察会、さんすう教室などの学習支援、公民館では子どもが企画・運営したチャレンジマート等が行われた。また、子ども防災リーダー養成講座などでは、受講経験者が新規参加者のサポートに当たり、講座で得た知識や体験を、学校や地域防災活動に活かしている。スポーツでは、全国大会や世界大会へ出場して好成績を収める子どもが多く、子どもたちの目標になっている。

**問** 公共施設総合管理計画の推進により、生涯学習施設の総量圧縮が図られますが、生涯学習

への影響をどのように考えているか。

**答** 公共施設のあり方は、「新たな施設はつからない」・「機能の複合化・集約化」を基本的な考え方とし、施設をコンパクトにして稼働率を上げ、市民が多く集う場所を目指している。生涯学習は、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」を基本的な考え方としている。まなびは地域の様々な場所で行うことも可能であり、利用者の想いに寄り添い、対応していきたい。

公共施設総合管理計画は、総合計画の基本計画策定期間に合わせ4年毎に見直しを行う。また、推進プランは、当初予算編成時に合わせて見直しを行う。本計画は今後の財政状況を踏まえ、学校施設に他の公共施設の機能を複合化・集約化して、学校を地域コミュニティの拠点とし、生涯学習やまちづくりを進めていく。施設の運営に協力いただいている市民、利用者、関係者に対して情報発信を、早目・こまめにし、ご意見を参考にしながら案を練り上げ、施設利用者には不便をかけるが、市の将来に向けた取り組みを丁寧にお伝えし、ある程度の案がまとまった段階で、説明会などの機会を設けたい。



幸前信雄 議員

**「公共施設の  
あり方検討」  
について**

**問** 何故、「公共施設老朽化問題」に取り組むことにしたのか。

**答** 少子高齢化の進展と経済成長の鈍化により歳入が減少する一方で、社会

保障費が増大し、自治体予算を圧迫。さらに「公共施設老朽化問題」が、高浜市の将来に大きな影響を与える「財政問題」となる。この問題を先送りすることはもはや至難であり、一刻も早く課題解決に向けて動き出す決意をした。

**問** 高浜市の公共施設の現状は。

**答** 高度経済成長期の急激な人口増加に応え、教育文化施設やコミュニティ施設等、多くの公共施設を整備してきた。これら建築後30年を経過した公共施設が多く、大規模な改修や修繕が必要。全ての公共施設に老朽化対策を実施することが困難な状況である。

**問** 高浜市の公共施設をどのようにしていきたい

いか。

**答** 本市の公共施設の総面積の4割を占める学校を中心として、施設の複合化を図っていきたい。

**問** 高浜市の公共施設を、このままの状態で維持していくとどんな問題が発生してくるか。

**答** 今後40年間で公共施設に係る投資的経費は総額522億円、年平均で約13億円と試算。直近5年間平均の公共施設に係る投資的経費が約2.6億円と、約5倍の費用が必要。「高浜市公共施設あり方計画(案)」で機能移転や複合化により、今後40年間の公共施設に係る投資的経費を299億円に削減した。施設はあったほうが良いか、ないほうが良いか聞くと、あったほうが良いとなるが、限られた財源でこのままの状態を維持していくことが困難。

**問** 市民のどれくらいの方が理解していると考えるか。

**答** 平成27年度に、5小学校区で市民説明会のアンケートでの参加者は593人、内317人から回答をいただき、学校施設への複合化や集約化に68%の方が賛成。



神谷直子 議員

### 公共施設のあり方について

**問** 公共施設の取り組みは、学校を地域コミュニティの拠点にし、他の公共施設を複合化・集約化して圧縮していくものです。長期的視点に立ち、次世代へ健全な財政を繋

ぐべく行うものです。市民説明会のアンケート結果は、平成26年度で9割の方、平成27年度には7割の方が複合化・集約化に理解しているとの結果でした。私は3月議会で、中央公民館の廃止及び解体の予算に賛成の立場をとりました。改めて、今なぜ、中央公民館を廃止しないといけないのかについて質問しました。

それでは、公共施設の在り方を考えるとは？

**答** 全国の自治体が、公共施設の老朽化問題に直面しています。高浜市だけではありません。施設にいろいろな機能を合わせるのが複合化です。集約化は、機能を1ヶ所に集めることです。両方ともコスト削減につながります。

**問** なぜ中央公民館を廃止するのですか？

**答** 中央公民館は、昭和55年から多くの市民に利用されてきました。しかし、築後36年が経過し、老朽化により、早急に修繕や改修が必要です。そのほか、施設の維持管理費など、多額の費用が必要になります。高浜小学校の建てかえに合わせ、体育館部分に機能移転されます。

**問** なぜ今回、前倒して壊されるのですか？

**答** 早急に大規模改修が必要です。施設の維持管理費も多額となり、前倒して壊さないとも基金が枯渇するので、廃止することになりました。

**問** 住民投票では、中央公民館の廃止は複合化や集約化として当てはまらないと考えているのではないのでしょうか？

**答** 「中央公民館の取り壊しの賛否を問う」とした住民投票は、中央公民館の廃止について問われていると理解されたと思われます。高浜小学校に機能移転されるので、ご理解ください。

**問** 劇場型ホールとして考慮しましたか？

**答** 高浜小学校の建てかえで、体育館にホール機能を持たせます。中央公民館と同じ奥行きของ ステージ、楽屋の設置、ロールバックチェアや音響等の設備を設けることにしています。



小野田由紀子 議員

### 発達障がい者支援について

**問** 開設以来5年が経過した、こども発達センターと5歳児健診の実績や成果について。

**答** ●平成27年度の実績では、臨床心理士による相談が316件、作業療法

士による相談が293件、言語聴覚士による相談が460件と、開設時と比較すると、2倍を超える実績となっている。

●5歳児健診では、平成27年度の受診率が95.2%で、受診率の高さからも健診として定着していることが伺える。

**問** 発達障がいの早期気づきと、支援に繋げるためゲイズファインダーの導入に向けた調査研究は。

**答** ●まず、専門職がゲイズファインダーを理解し、具体的な利用状況を確認したい。

●現在行っている健診や相談事業の、どこに位置付けて実施していくのか、どの部分を補完するツールとするのかなど、検討していければと

思っている。

●来年1月から、子ども版の地域包括支援センターを目指してまいります。

### 若年性認知症対策について

**問** 若年性認知症と診断されたとき、どこに相談し、どのようなサービスや制度が利用できるのか。このまちで安心して暮らしていけるよう、普及・啓発すべきではないか。また、社会資源の利用についての考えは。

**答** ●早期診断・早期対応に繋げるための普及啓発から始めていく。

●地域包括支援センター内に、認知症地域支援推進員を配置する予定。

●10月に配置される愛知県の大府地域包括支援センター内の「若年性認知症コーディネーター」と連携しながら、相談支援体制を構築していきたい。

●若年性認知症の方にも使いやすい「認知症サポートブック」の変更を行う。

●社会福祉協議会が行っている「認知症カフェ」で、若年性認知症を対象としたカフェも開催できると思う。





内藤とし子 議員

### 公共施設 あり方計画について

**問** 住民発議を受けて、住民投票を実施することについての見解は。

**答** 公共施設のあり方は、住民説明会で説明してきた。多機能施設として再配置するための、バラ

ンスの取れたあり方を計画してきた。

**問** 住民投票で中央公民館の取り壊し反対の結果がでた場合、高浜小学校整備事業等は見直すべきと考える。複合化・縮減といったが、現在、複合化しようとしている整備事業で、どのような効果があると考えているか。

**答** 1施設を3機能で使えるように、計画を進めていく。

**問** 6月議会に、中央公民館の取り壊しに関連して商工会を移転させるためのエコハウス改修工事1,193万3千円。商工会に入っている3団体の補償費5,587万8千円。将来、商工会の会館を建てる際に必要な財政援助をするための担保

5,700万円。商工会を建てたときの、国からの補助金の未執行分754万円の国庫返納金。中央公民館の取壊し費用3億円に加え、これらの費用も必要になるが、市民にそんな説明はなかった。市民に説明をして進めるべきではないか。

**答** 住民投票の結果が出てから、議会とも協議して決めていく。

### ボートピア（小規模舟券売り場）について

**問** 小規模場外舟券売り場が二池町に計画されているが、どのように認識しているか。

**答** ボートピアとは、ボートレース場以外の場所で舟券を販売する施設で、モーターボート競争法に基づき、最終的に国土交通大臣の許可を受けて設置されるものです。

**問** 平成23年に田戸町に建設計画があった際、なぜ中止になったと捉えているか。子どもの交通安全や精神面で心配があり、中止を求める。

**答** 計画の賛否を問う町内会投票が行われた結果、反対が多かったと聞いている。市としては、正式な建設計画は承知していない。



杉浦康憲 議員

### 公共施設あり方計画 について

**問** 中央公民館ホールの利用日数と利用件数。また、利用件数については、市内・市外の内訳を教えてください。

**答** 平成27年度は、利用日数が69日、利用件数が

72件で、うち市内申請者が55件、市外申請者が17件です。

**問** 毎年定期的に利用されていた方もみえると思いますが、どのような対応をとられたのか。

**答** 市内利用55件のうち、市や市の関係団体、学校の利用を除いた一般利用は7団体、16件となっています。代表の方には、代わりとなる施設の候補をご紹介するとともに、必要に応じて利用の相談に応じることをお伝えしています。

**問** 高浜小学校の体育館ができるまで、小中学校吹奏楽の発表場所は、どこで開催されることになるか。

**答** 1つ目として、高浜中学校体育館を使用し

て5小学校、2中学校の金管・吹奏楽の発表を行う。2つ目として、高浜中学校と吉浜小学校、翼小学校、南中学校と、高浜小学校、高取小学校、港小学校の発表会を2中学校に分かれて行う、どちらかの案で実施することを検討しています。ひかり幼稚園の発表会は、安城文化センターホールを予定されているとのこと。

**問** 公民館東側の駐車場と、シルバー人材センターに隣接している駐車場はどうなるのか。

**答** 立地の特性から、特別支援学校の送迎バスの発着場所として活用されるなど、公民館駐車場以外の機能も持っています。また、災害など非常時の一時避難場所や活動拠点といった、防災空地としての機能もあり、引き続きお借りしていきたいと考えています。

**問** 高浜小学校プールですが、どう考えていますか。

**答** 屋外で天候に左右されるということと、水質検査のため教職員の作業的な負担が大きく、民間プールを活用した水泳授業のあり方を目指したほうが、メリットが大きいと考えています。また、専門の指導者がサポートすることによる、効果的な指導も期待されます。



神谷利盛 議員

「防災行政について」  
熊本地震より  
何を学んだか？

問 熊本地震では1981年以前(旧耐震基準)の家屋の損害が多かった。当市では、旧耐震基準に該当する家屋は何世帯あるのか？

答 2,390戸が該当する。全世帯数の13.5%。多い順に、青木町、呉竹町、屋敷町。

問 旧耐震基準の家屋に対し、どんなアクションを取っているか？

答 対象家屋に対し耐震診断受診を勧めるため、広報での周知活動、個別ダイレクトメール発送を行っている。今後、戸別訪問も計画している。

問 地震の備えとして今、最も懸念していることは何か？

答 「自助」・「共助」に対する市民の認識不足を懸念している。防災訓練等を通じ、地道に意識付けをしていく。

問 熊本地震発生直後には市職員が現地へ出向

き、被害状況、対策状況を確認した上で、速やかに市に対し報告すべきだと思うが、実際に現地に行ったのか？

答 地元の要請もなかったので行っていない。今後は極力現地に出向いて、生の情報収集に努め、当市の災害対策に活かしたい。なお、9月から愛知県市長会より職員派遣時に助成金が出るようになり、派遣しやすい環境になった。

問 エコノミークラス症候群による死亡者が目立った。対策は、何か考えているのか？

答 9月4日の防災訓練時に一部の会場で、保健師がエコノミークラス症候群の予防講話と体操を行った。今後、他地区へも展開する予定。

問 災害発生時の連絡方法として、小型無線機を使った訓練が行われている。携帯電話、アマチュア無線、徒歩、自転車等、あらゆる媒体を使用して、速やかに連絡が取れるような訓練も実施して欲しい。

答 まちづくり協議会とも協議しながら、無線機以外の通信手段の構築も検討していく。



柳沢英希 議員

地域内分権の推進  
(まちづくり協議会)  
と住民(町内会や各団体)  
の理解について

問 今後も推進していく、まちづくり協議会を簡単に言うと。

答 地域において、一団体では解決できない多岐にわたる問題の解決のための協議の場であり、地域の諸課題を解決するためのハブ、調整役である。

問 近頃、まちづくり協議会に対し、批判的な声があるが、一度目線を揃えるべきでは。

答 認知度は上がってきているが、まちづくり協議会に対しての誤解もある。運営側にも構成団体にも、正しく理解して頂く必要もある。

行政から指示を出さず、双方が同じ目線で課題に気付き解決行動に繋がるよう支援していく。

問 具体的な支援システムは考えているのか。

答 平成29年度より市民予算枠事業交付金を、事業積み上げ方式から定率制+協議方式に変え

る。交付金総額の3分2の内、4割を均等割額、6割を学区の人口割額とし、残りの3分の1を上限に団体での協議枠額とする。また、達成率や第三者的団体による評価は検討していく。

広域連携について

問 高浜市では、定住自立圏、衣浦広域連携推進ビジョンを始め多くの連携があるが、現在の国や他地域での広域連携の動向を注視し、もっと危機感を持ち、近隣市町で補完し合えるところをしっかりと洗い出し、更なる広域連携の強化を進めるべきでは。

答 現在、危機感を持ってないが、衣浦東部広域行政圏、衣浦定住自立圏では、各市町が密接に連携し、郷土の魅力や誇りの創出、豊かに暮らせる地域づくりに努め、情報交換も行っている。リニアインパクトについても、必要に応じ連携している。

また、新たな課題が出てきても広域で対処できるよう、日頃から近隣各市町が密接に連携して圏域全体のつながりを強めるとともに、市域を超えた広域的な取り組みを調査・研究していく。

# Report 常任委員会行政視察レポート

7月20日(水)から22日(金)に、総務建設委員会が香川県高松市、徳島県上勝町、広島県尾道市へ、また、福祉文教委員会は8月1日(月)から3日(水)に埼玉県吉川市、東京都荒川区、埼玉県和光市に訪問しました。それぞれ特色のある取り組みをされていました。直ぐに高浜市に取り入れられるものばかりではありませんでしたが、今後のまちづくりや政策に、その精神・エッセンスなど、活かしていきたいと思えます。視察した主な場所を、写真を中心にをご紹介します。

## ■福祉文教委員会



▲(埼玉県吉川市)美南小学校=小学校施設に公民館や子育て施設等が複合化され、同じタイプの設計で2校目ということもありコストが抑えられている。また、子どものためのセキュリティや、施設利用者のための工夫が、随所に見られる。

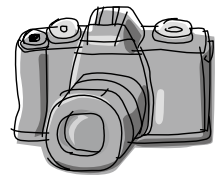


▲(東京都荒川区)子どもの貧困対策=貧困の原因を細かく分析・定義付けをして、様々な対応メニューをつくり、対策をしている。



▲(埼玉県和光市)高齢者福祉センターゆうゆう=通所事業と介護予防の総合的モデル拠点を視察。また、介護・医療等を包括・継続的につないでいく仕組みである地域包括ケアシステムを勉強した。

## ■総務建設委員会



◀(香川県高松市)丸亀商店街振興組合=建物の2階同士をつなぐ回廊、長期借地権、アーケードの高さなど、知恵と規制改革のかたまりとのこと。



▲(徳島県上勝町)地域産業とゴミゼロ=写真は町で一つしかないゴミステーション併設施設での、リサイクルの説明。



▲(広島県尾道市)空き家対策=急傾斜地で道が狭く、建てかえのきかない空家の再生(カフェや若者向け借家、長期滞在宿泊施設等々の取り組み)。

# 議会報告会

日時：平成28年11月26日(土)  
午後2時～4時まで

(開場 午後1時30分)

場所：吉浜公民館2階 会議室

報告会：6月定例会・9月定例会での  
審議内容の報告

## ●12月定例会の日程●

(午前10時～)

月 日	曜	会議日程	付議事項
11月 29日	火	本会議 第1日目	開会、議案上程、説明
12月 6日	火	本会議 第2日目	一般質問
12月 7日	水	本会議 第3日目	一般質問
12月 9日	金	本会議 第4日目	総括質疑、議案委員会付託
12月 13日	火	総務建設委員会	付託案件審査
12月 14日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
12月 15日	木	公共施設あり方 検討特別委員会	付託案件審査
12月 22日	木	本会議 第5日目	委員長報告、討論、採決、閉会

(都合により、日程を変更する場合があります。)

**12月定例会を  
傍聴してみませんか**

定例会は3・6・9・12月の年4回  
開催されます。

一般質問等で、市政全般にわたって議  
論が展開されます。

ぜひ一度、傍聴にお越しください。



## 編集後記

今年は、嫌な自然現象が続いています。熊本大地震、猛暑、豪雨、連続台風等々に阿蘇等の火山噴火。本当に、被災された方のご苦勞を想うと胸が痛みます。二元代表制の片翼を担う議員の想いも、みんな同じでしょう。日本の繊細な四季が、常に感じられる世の中であることを心より願います。(浅)